

2022年度入学生 食物栄養学科カリキュラムマップ

【食物栄養学科のディプロマポリシー】

1. 【知識・技能】

- 1-1 食品に関する専門的知識を身に付けている。
- 1-2 栄養と健康に関する専門知識を身に付けている。
- 1-3 食育の実践に必要な知識・技能を身に付けている。
- 1-4 健康管理を行うために必要となる知識・技能を身に付けている。
- 1-5 食品の開発や管理を行うために必要となる知識・技能を身に付けている。
- 1-6 食と健康に関する研究を行うために必要となる知識・技能を身に付けている。

2. 【思考力・判断力・表現力等の能力】

- 2-1 食と健康に関する情報を客観的に理解し情報ツールを使いこなす能力を身に付けている。
- 2-2 食と健康に関する課題を解決する能力や判断力を身に付けている。
- 2-3 食に関する課題について、創造的思考力をもって解決できる能力を身に付けている
- 2-4 専門知識や技能を活用し、食事指導や食事管理に携わることのできるプレゼンテーション能力を身に付けている。

3. 【主体性・多様性・協働性】

- 3-1 社会人（栄養士）として必要なコミュニケーション能力を身に付けている。
- 3-2 食と健康に関する問題を主体的に学ぼうとする態度を身に付けている。
- 3-3 食と健康に関して生涯にわたり学ぶ姿勢を身に付けている。
- 3-4 社会人（栄養士）として積極的に社会へ貢献する意欲や態度を身に付けている。
- 3-5 専門知識や技能を活用し、社会に貢献できる能力を身に付けている。

【食物栄養学科のカリキュラムポリシー】

食物栄養学科は、学生がディプロマ・ポリシーに定める基準に到達できるよう、次のように教育課程を編成する。

①栄養士として必要な、食品・栄養と健康に関する基礎的な知識や実践的な能力を身に付けることができるように、「専門基礎科目」・「専門科目Ⅰ」は「栄養士資格に関する科目」として卒業必修科目と栄養士資格取得に必要な科目に分けて配置している。

②食品に関する専門知識や、食品の管理や開発に関する専門知識を身に付けることができるように、「専門科目Ⅱ」・「栄養に係る教育および教職に関する科目」を配置している。さらに教員免許である栄養教諭二種免許状が取得できるカリキュラムを編成している。

③社会人（栄養士）として、社会のニーズに対応した専門知識や技能を活用し、社会に貢献できる能力を身に付けることができるように、「専門科目Ⅲ」では、基礎知識を補う専門科目に加えて応用科目を配置している。

\*1年次には、栄養士として必要な基礎調理技術や専門的な基礎知識を中心に修得する。  
学修の実践に入っていただくための初年次教育として「やさしい生物」「やさしい化学」等の科目を配置している。

\*2年次には、応用的な知識や技術、栄養士校外実習などにより、実践的な技術、思考力、表現力、コミュニケーション能力、判断力を修得する。

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	食物栄養学科の学修成果 (◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)																
		1年次 2022		2年次 2023			ディプロマポリシーの項目番号																
		前期	後期	前期	後期		DP1 【知識・技能】					DP2 【思考力・判断力・ 表現力等の能力】					DP3 【主体性・多様性・ 協働性】						
							1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5		
栄養士資格に関する科目	公衆衛生学			○		公衆衛生の現状と問題について、理解し、自身の意見を述べるようになる。		◎		◎		○	◎							○	○	○	
	社会福祉論				○	①社会福祉の意義と必要性について理解できるようになる。 ②社会福祉の思想・理念、基本原理について理解できるようになる。 ③社会福祉法制、社会福祉サービス体系について理解できるようになる。 ④社会福祉援助対象と援助の視点について理解できるようになる。 ⑤社会福祉と人権・差別問題との関連について理解できるようになる。				◎		○	○	○								◎	○
	解剖学	○				①人体の正常構造を理解することによって、栄養と健康に関する専門知識を身に付けることができるようになる。 ②人体の正常構造を理解することによって、健康管理を行うために必要となる知識・技能を身に付けることができるようになる。 ③人体の正常構造を理解することによって、食と健康に関する課題を解決する能力や判断力を身に付けることができるようになる。 ④人体の正常構造を理解することによって、食と健康に関する問題を主体的に学ぼうとする態度を身に付けることができるようになる。				◎		◎									○		
	生化学		○			①細胞の生化学的性質や生体の調節機能を理解することによって、栄養と健康に関する専門知識を身に付けることができるようになる。 ②細胞の生化学的性質や生体の調節機能を理解することによって、健康管理を行うために必要となる知識・技能を身に付けることができるようになる。 ③細胞の生化学的性質や生体の調節機能を理解することによって、食と健康に関する課題を解決する能力や判断力を身に付けることができるようになる。 ④細胞の生化学的性質や生体の調節機能を理解することによって、食と健康に関する問題を主体的に学ぼうとする態度を身に付けることができるようになる。				◎		◎										○	







